

- (3) エアノズル外力マグネスケール変位検出式  
検出器 住友重機産業機 山本 啓二
- (4) 磁気式検出器  
東芝エネルギー機器研 浅野 都司
- (5) 多分割ロールプレスダクター式検出器  
アセアガデリウス 小川 紘夫
- (6) 多分割ロール圧力検出式検出器  
川鉄西宮 高德 芳忠
- 午後 (13:00~17:00)
- 4) 形状検出及制御の作業実績について
- (1) ホットストリップ及びコールドストリップミル  
における実績  
新日鉄設技センター 藤井 国一
- (2) コールドストリップミルにおける実績  
鋼管 山田 健夫
- (3) ゼンジミア圧延機での実績  
川鉄西宮 神谷 昭彦
- (4) 透磁率検出器を用いた実績  
住金中研 近藤 勝也
- (5) アルミ圧延における実績  
住軽金 安藤 正男
- 討論 (15:40~17:00) 司会 名大 戸沢 康寿

### 第5回計測と制御におけるミニコンと マイクロコンピュータ講習会開催案内

#### [第1部]

と き：昭和52年12月12日(月)~13日(火) 9:30~10:30  
と ころ：国立教育会館

主テーマ：マイクロプロセッサの応用分野について

#### 第1日 講義内容

- ・プロセス工業におけるデジタル計装と  
マイクロプロセッサの応用

#### 1. 鉄鋼プロセスにおける応用

新日鉄 中北輝雄君

#### 2. 都市ガス工業における応用

東京ガス 田中 弘明君

#### 3. 石油化学工業における応用

千代田化工 東山 尚君

#### 4. 電気事業におけるマイクロコンピュータの応用

電力中研 小暮 仁君

#### 第2日 講義内容

- ・応用分野とマイクロプロセッサ

#### 1. CNC/ロボットの機械加工の応用

富士通ファナック 稲葉 肇君

#### 2. 医療用分析機器における応用

電気化学計器 渡辺 文夫君

#### 3. マイクロコンピュータの展望

東京大学 石田 晴久君

#### [第2部]

計測と制御に関する技術講演と協力会社での実習

と き：昭和53年1月30日(日)~2月3日(金)

第1日 1月30日(月) 会場：国立教育会館

技術講演会—協力会社のシステムを中心として—

第2日, 第3日 1月31日(火), 2月1日(水)

Aグループ協力会社での実習

東京芝浦電気(株), 日本電気(株), (株)日立製作所

第4日, 第5日 2月2日(木), 2月3日(金)

Bグループ協力会社での実習

(社)北辰電機製作所, 山武ハネウエル(株)

(株)横河電機製作所

(注)：第2部の参加者は技術講演のほか、Aグループ  
の1社、Bグループの1社で実習できます。

参加費：(第1部, 第2部の両方に参加の場合)

(テキスト代金) 会費 25,000 円, 学生会員 15,000 円  
会員外 50,000 円

(第1部または第2部の一方に参加の場合)

会員 15,000 円, 学生会員 10,000 円

会員外 30,000 円

申込・問合せ先：

〒105 東京都港区虎ノ門 1-15-5

(9月1日より住居表示変更)

森ビル琴平アツクス内

(社)計測自動制御学会 電話 (03) 502-1917

## 「鉄と鋼」特集号原稿募集案内

力学的分野において話題を呼んでいた破壊力学は近年材料力学の分野にも積極的に取り入れられて定着した感があります。さらに環境の影響などについても研究がさかんに進められています。今回は破壊のモード、破壊靱性値、疲れき裂の発生及び伝播の問題などと、冶金学的因子の関連に焦点をあて、鋼構造物の安全性向上ならびに今後の鉄鋼材料の進歩に寄与ができることを期待し、特集号を企画いたしました。

次のようなテーマを仮りに設けましたので関連ある論文あるいは技術報告のご投稿をお願いします。

(1)不安定破壊(延性破壊を含む), (2)破壊靱性値による鋼材の評価, (3)疲れき裂の発生と伝播に関する破壊力学的取扱い, (4)高強度鋼の破壊, (5)大型構造物の破壊

記

1. テー マ 鉄鋼材料の破壊靱性
2. 原稿締切日 昭和52年11月10日(木)
3. 発 行 鉄と鋼第64年7号(昭和53年6月号)
4. 原稿枚数 図, 表, 写真を含めて所定の原稿用紙50枚以内(厳守) (刷上り10頁以内)
5. 送付先 100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階  
日本鉄鋼協会編集課 電 03-279-6021(代)

(注) 原稿表紙に「破壊特集号」と朱書してください。